

# 日本地衣学会

# No.132

# ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	日本地衣学会2015年度評議員会議事録／河原 秀久(2015年度庶務幹事)……………	493
	日本地衣学会第14回大会総会報告／河原 秀久(2015年度庶務幹事)……………	494

## 会務報告 *Report of the JSL Activities*

### 日本地衣学会 2015 年度評議員会議事録

*Report of the JSL Councilors' Meeting at Kurume, July 2015 / by KAWAHARA Hidehisa*

>>>>> 河原 秀久(2015年度庶務幹事)

評議員会が以下のとおり開催されましたので、報告いたします。

\* \* \*

日時 2015年7月4日, 10:00~12:00  
 場所 久留米工業高等専門学校 管理棟 2階小会議室  
 参加者: (評議員)木下 薫, 竹仲 由希子, 小杉 真貴子, (会長)棚橋 孝雄, (役員)河原 秀久, 木下 靖浩, 原 光二郎, (編集委員長)原田 浩

#### 内容

##### I. 2014年度事業報告

1. 会員数の中には、会費を支払っていない会員を含んでいる。

会員数は、2015年7月4日 現在 177名(一般 116, 学生 29, 海外一般 20, 海外学生 2, 有功 1, 団体 3, 名誉 6)であった。名誉会員が6名減少したにもかかわらず、会員数は昨年度より1名の増加で、若干増えている傾向にある。

2. 以下の報告が承認された。

##### (1) 主催大会

- ① 日本地衣学会第13回大会・国際シンポジウム(ニュースレターNo.127)。秋田カレッジプラザ(秋田県秋田市), 7月12日~13日。参加者: 45名。演題数: 一般講演・国際シンポジウム・受賞講演あわせて28題。懇親会は秋田ビューホテルで開催された。引き続き、奥入瀬渓流にて観察会を行った(7月14日~15日)

②第13回学会主催観察会。宮崎県綾町綾川河畔  
 2014年11月8日~11月9日。参加者: 7名

##### (2) 学会誌の刊行

- ① 学会誌 Lichenology 第13巻1号(2015.1), 2号(2015.6)
- ② 日本地衣学会 Newsletter 発行, No.122~127
- ③ 「都道府県別地衣類チェックリスト」合冊

##### (3) 委員会報告

##### (3-1) 地域活性化委員会

- ① ワークショップ。日本地衣学会第12回秋田ワークショップ(2014年8月16-20日, 秋田県立大学, 参加者10名)
- ② 第39回青空地衣教室。横浜自然観察の森 2014年10月25日(雨天決行)
- ③ 日本の地衣フロア解明プロジェクト

##### (3-2) 学術交流委員会。自然史学会連合, 日本分類学会連合 対応, 日本植物学会 対応せず

##### (3-3) ホームページ運営委員会。学会活動の広報, Twitterの活用

##### II. 2014年度決算報告・監査報告

報告は承認された。

##### III. 入・退会者承認

入会及び退会について承認された。

##### IV. 2015年度事業計画

##### 1. 主催大会, シンポジウム, 観察

- (1) 日本地衣学会第14回大会(久留米)大会ホームペ

## ーシ参照

- (2) 観察会（地域活性化委員会関東、日本の地衣フロ  
ウ解明プロジェクト）

## 2. 印刷物発行等広報活動（編集委員会）

- (1) 学会誌 *Lichenology* 第14巻1号（8月予定）、  
2号（12月予定）  
(2) 日本地衣学会 Newsletter（128号、6月発行、  
他随時）

## 3. 委員会報告

- (1) 地域活性化委員会  
① 青空地衣教室  
② ワークショップ 日本地衣学会秋田ワークショップ  
（今年度は開催しない予定）  
(2) 自然史学会連合、日本分類学会連合 対応  
(3) ホームページ運営委員会、コンテンツの充実  
(4) 国際学会対応委員会  
① 日本菌学会の60周年記念大会およびアジア菌学  
会、国際菌学会の日本開催について菌学会からの  
打診がありました。今後、再度打診があれば随時  
対応することになった。  
② 来年度国際地衣学会（IAL8）がフィンランドのヘル  
シンキで8月1-5日に開催されること、15th  
March 2016, Submission of abstracts closes

## 4. 2015年度予算案

予算案が承認された。

## 5. 審議事項

- (1) 原田氏より名誉会員として Esslinger 氏が推薦  
され、審議了承された。  
(2) 学術情報交流委員会、日本菌学会および国際学会  
に関する日本菌学会からの打診は随時対応すること  
になった。  
(3) 第15回および16回日本地衣学会大会開催場所  
について審議され、15回は岐阜大学、16回は高知大学  
で行うことになった。  
(4) 奨励賞について審議され、坂田 歩美さんが承認

された。

- (5) 次期会長および執行部について議論され、評議員  
会として棚橋会長を推薦することに決定した。執行  
部として2期つづいた庶務および会計担当者が今年  
末で交代であることが紹介された。日本地衣学会会  
則の第12条を以下のように改定した。

第12条 本会の役員の任期は2年とする。ただし、  
初代役員は2003年12月31日までとする。補欠によ  
る役員の任期は前任者の残任期間とする。役員は再  
任することができる。ただし、編集委員長以外は、  
引き続き4年を超えて同じ職に在任することはでき  
ない。なお、役員改選の際、庶務担当および会計担  
当が同時交代の場合には、在任を延期することもで  
きる。

## 日本地衣学会第14回大会総会報告/ 河原 秀久 (2015年度庶務幹事)

*Report of the General Meeting at 14<sup>th</sup> Annual Meeting of the  
Japanese Society for Lichenology, 4 July 2015/ by Kawahara K.*

日本地衣学会第14回大会を2015年7月4~5日、久  
留米工業高等専門学校にて開催されました。4日に本学  
会総会を開催し、日本地衣学会会長の棚橋孝雄から挨拶  
があり、引き続き庶務幹事の河原が、当日午前中に  
開催された評議委員会で報告されたこと、審議、承認  
されたことをについて報告いたしました。次回15回大  
会開催を岐阜大学の川上紳一先生にお願いすること  
になったことも報告しました。さらに、坂田歩美氏に日  
本地衣学会学術奨励賞を授与することを報告しました。  
本年度、会長選挙を行うことも伝えられ、推薦及び投  
票のお願いもしました。時期執行部の対応について説  
明をし、役員改選に関する会則の変更も伝えられまし  
た。以上、皆さまのご協力を得まして滞りなく総会を  
終了することが出来ました。

## ●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、許諾を受けてくだ  
さい。詳細は本誌102号378ページに。

## ●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or  
your organization must obtain permission. For details, see  
No. 102, p. 378 of this publication.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*,  
no. 132, pp. 493-494: eds. Kinoshita K., Komine M. &  
Harada H., published by the Japanese Society for  
*Lichenology*, 14 July 2016.

日本地衣学会ニュースレター 132号

発行日：2016年7月14日

編集：木下 薫・小峰 正史・原田 浩

発行者・発行所：日本地衣学会

〒658-8588 神戸市東灘区元山北町4-19-1

神戸薬科大学 薬科学研究室

©2015 日本地衣学会 (©2015 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。